

VMware Horizon Cloud with Hosted Infrastructure (クラウド ホスト型)

VMware Horizon® Cloud Service™ は、オンプレミスのインフラストラクチャや VMware が提供する完全なマネージド インフラストラクチャなど、複数の展開オプションの選択が可能な専用のクラウド プラットフォームを使用して、機能豊富な仮想デスクトップや仮想アプリケーションを提供します。このサービスは、クラウドの規模に対応するアーキテクチャをサポートしており、機能豊富な Windows 仮想デスクトップや仮想アプリケーションを、デバイスや時間を問わず簡単に提供できるほか、柔軟なサブスクリプション モデルや直ちに導入可能なソリューションにより、簡単な導入と運用、迅速な拡張が可能です。

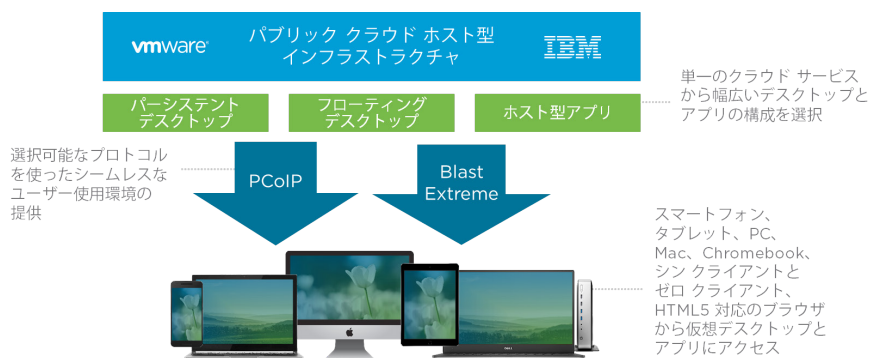
Horizon Cloud with Hosted Infrastructure

Horizon Cloud with Hosted Infrastructure により、Windows デスクトップやアプリケーションをクラウド サービスとして簡単に提供できます。IT 部門は、セキュリティやガバナンスに関する企業の要件を損なうことなく、時間とコストを削減できるほか、エンド ユーザーはデバイスや場所を問わずワークスペースにアクセスできるため、生産性が向上します。

概要

現在、ビジネス環境は日々変化しています。エンド ユーザーは、オフィスや自宅など、あらゆる場所から企業のコンテンツにアクセスし、使用するデバイスは、Windows だけではなく iOS、Android、Mac など多岐にわたります。業務に必要な特定のアプリケーションのサポートが IT 部門にリクエストされることもあります。残念ながら、予算の縮小やスタッフの削減により合理化が進む IT 部門では、特にセキュリティや規制準拠への対応も行うとなると、エンド ユーザーの要求に応えることは非常に困難です。

これらの要求に対応するため、IT に精通した企業では、すでにデスクトップやアプリケーションの仮想化を採用しています。しかし、従来の仮想デスクトップや仮想アプリケーションの展開は、専門の IT スタッフを必要とする、時間のかかる大変な作業です。仮想デスクトップや仮想アプリケーション環境をすべてセットアップするには、数日、時には数週間もの時間がかかりますし、継続的なメンテナンスやアップデートも必要です。その上、ほぼすべての環境がオーバー プロビジョニング状態になり、コストの増加につながります。



Horizon Cloud with Hosted Infrastructure を使用すると、リスクなしで次世代のワークスペースを段階的に導入し、クラウドから包括的な仮想ワークスペースを提供できるほか、管理が容易な統合クラウド サービスとしてデスクトップとホスト型アプリケーションを提供でき、ユーザーが使用するデバイスや場所を問わず、デスクトップとアプリケーションの迅速なプロビジョニングが可能です。また、オンプレミス環境でのデスクトップの仮想化や、物理 PC の交換時には設備投資コストが必要ですが、Horizon Cloud with Hosted Infrastructure では予測可能で予算の立てやすい運用コストで仮想デスクトップを運用できます。

Horizon Cloud with Hosted Infrastructure のメリット

クラウドによるシンプル化

VMware のホスト型インフラストラクチャにより、インフラストラクチャの管理とメンテナンスをアウトソースできます。Horizon Cloud では、本番環境レベルのサポート、エンタープライズ クラスのセキュリティ、連続稼働時間 99.9 % のサービス レベル アグリーメントを提供するため、IT 部門はエンド ユーザーが必要となきいつでもデスクトップやアプリケーションを安心して展開できます。

包括的なサービスとしてのデスクトップ (Desktop-as-a-Service) ソリューション

Horizon Cloud with Hosted Infrastructure では、クラウド ホスト型の Windows 仮想デスクトップや仮想アプリケーションを柔軟に展開できます。多様なユーザーのニーズを満たすために、パーシステント デスクトップ、ステートレス デスクトップ、ホスト型アプリケーション、高性能の GPU を使用したデスクトップから柔軟に選択可能です。また、容易にキャパシティを設定できるため、事前に用意されたモデルを購入するのではなく、展開時にデスクトップの仕様を自在にコントロールすることができます。

導入時間の短縮

クラウド ホスト型インフラストラクチャでは、キャパシティの追加を数か月から数日に短縮できるため、従来のオンプレミス VDI 環境よりも短期間でデスクトップを提供し、ユーザーが作業を開始することが可能です。また、App Volumes、User Environment Manager、Instant Clone など、新たに統合されたテクノロジーを活用することで、迅速にデスクトップとアプリケーションをユーザーに提供できます。

予測可能な運用コスト モデル

Horizon Cloud with Hosted Infrastructure は、使用した分だけを支払う料金モデルであるため、利用状況に応じて料金を支払うことができます。多大な時間を必要とする難しいシステム環境のサイジング作業を事前に行う必要はなく、高額な設備投資コストも不要です。

詳細情報

詳細については、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.vmware.com/jp/cloud-services.html>

製品の仕様およびシステム要件の詳細については、VMware Horizon® Cloud Service™ のオンラインドキュメントを参照してください。

VMware の優位性

Horizon Cloud with Hosted Infrastructure は、クラウド サービスとして仮想ワークスペースを提供するためにゼロから開発されたものです。このサービスには、次のような VMware 独自の機能が実装されています。

妥協なく自由にカスタマイズ可能なデスクトップ環境：すべてのユーザーが独自の仮想デスクトップを持ち、物理デスクトップや物理ラップトップと同じように、アプリケーションと使用環境をカスタマイズできます。

パーシステント状態の保存：クラウド ホスト型デスクトップはシャットダウンする必要がないため、ユーザーは作業途中のファイルを閉じずに退社し、自宅から自分自身のデスクトップやアプリケーションにログインして作業を続行できます。もちろん電源のオンオフも必要ありません。

企業システムとの連携：VMware のテクノロジーによって、すべてのテナントに専用の仮想ローカル エリア ネットワーク (VLAN) が提供されます。これは、IT 部門が、自社の Active Directory、アプリケーション、およびファイル サービスを活用して、クラウド ホスト型デスクトップやホスト型アプリケーションを自社の環境と容易に連携できるよう設計されています。自社のデータセンターと VMware との間に信頼されたドメインを設定する必要はありません。

管理の簡素化：IT 部門は、クラウド ホスト型の仮想デスクトップや、RDS ホスト型の共有デスクトップおよびアプリケーションを単一のコンソールで容易に管理できます。これには、デスクトップ イメージ、仮想マシン、ユーザーの割り当て、アプリケーション、複数のデスクトップ モデルが含まれます。また、IT 部門は、既存の自社ツールを使用して、クラウド ホスト型のデスクトップやアプリケーションを管理することも可能です。

認証情報とセキュリティ ポリシーの拡張：IT 部門は、既存のインフラストラクチャと同じ認証情報と権限を使用して、仮想デスクトップのセキュリティを管理できます。

セキュリティの統合：安全なポイント ツー ポイントのネットワーク接続、専用コンピューティング、ネットワークの分離など、組み込みのセキュリティ機能によって、企業のデータとアプリケーションを確実に保護できます。

